

火災をふせぐ

わずかの油断で、あっという間にすべてが灰になってしまう火災。そんな恐ろしい火災を起こさないためには、日常のちょっとした心がけが大切です。防火対策の注意ポイントをもとに、自分の生活を振り返り、普段からの防火対策をチェックしてみましょう。

防火対策の10の注意ポイント

1 ストープの周辺はすっきりと

特にカーテン、洗濯物には要注意。石油ストーブの給油、移動は必ず火を消してから。



2 揚げ物料理はその場を離れない

電話や来客の対応は、必ず火を消してから。そばに燃えやすいものを置かない心掛けも。



3 寝たばこ、ポイ捨て厳禁

寝たばこはしない、させない習慣を。火のついたたばこの放置やポイ捨ても厳禁。



4 放火をさせない環境づくり

家の周りに燃えやすいものを置かない。物置、車庫などのカギはしっかりと。



5 強風の日のたき火は危険

子どもだけでたき火をさせない。風のある日のたき火は中止。



6 子どもの火遊び禁止

日頃のしつけをしっかりと。目の届くところにマッチやライターを置きっぱなしにしない。



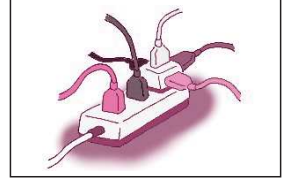
7 風呂の空だきをしない

点火のときは浴槽の水量を確かめて。点火、消火は目で確認。



8 コンセントにこまめな気づかい

たこ足配線、コンセントまわりのホコリに注意。使わない時はこまめに抜く。



9 就寝前の火の用心

ガスの元栓、コタツのコンセントなど指さし点検で火の元確認。



10 消火の備えを万全に

住宅用火災警報器や消火器を設置。また、防火訓練には積極的に参加。

